

活動プログラム

団体名（ NPO 法人 f. saloon ）

1. 事業内容

☐	子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
☒	不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
☐	自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
☐	家庭教育支援に関する活動
☒	地域課題の解決に関する活動
☒	地域人材の育成に関する活動

※複数選択可

2. 活動プログラム名

「	片上高校 校内カフェ	」
---	------------	---

3. 目 標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等

- ・友達・家族・先生以外の第3者とつながるための力（ナナメの関係を獲得する能力）
- ・人との出会いから、今の自分から一歩外の世界へ踏み出そうとする力

4. 活動内容 ※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

回	★目標 ・ 活動内容・ 対象・ 参加者人数・ スタッフ人数・ 会場等	◆目指す参加者の姿 （評価方法）
第1回	★高校生が第3者とながり、今の自分から少しだけでも一歩外に踏み出せるきっかけをつくる。 ・ 活動内容：片上高校の授業前の時間（16 時 30 分～17 時 30 分）に校内の食堂で校内カフェを開き、地域の人（協力団体やその周辺の人）と自由に話したり相談できる場を設ける。まずは第3者と話をする経験を積み、その後他者に自己開示する経験をして、最終的には学校の外での活動（地域活動・インターンなど）への参加など一歩踏み出せるきっかけを作り出す。 ・ 対象：片上高校の高校生 ・ スタッフ数：1 日あたり 5～10 人 ・ 会場：備前緑陽高校食堂（片上高校と同じ敷地内） ・ 日 ち：9 月 30 日	◆参加する高校生が「他者に積極的につながろうとする意欲」「外界にむけて興味や関心を示す意欲」があるかどうかをアンケートで評価する。

第 2 回	以降、同内容で月1回のペースで実施。	◆
-------------	--------------------	---

5. 展 開

回 時間	内 容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
【各回共通】 20分	【導 入】 ・ 準備 ・ オペレーションの確認		・ 目的を参加する大人の間で共有。	
60分	【活 動】 ・ 食堂に来る片上高校生に、用意したご飯を提供する。 ・ 提供の合間を見て、一緒に話したりゲームをしたりする。	・ 食事 ・ 飲み物 ・ ボードゲーム ・ アンケート	・ 無理に話しかけず、自然な会話を心がける。 ・ 次に食べたいものなどのアンケートを活用して、自然に話のきっかけを作り出す。	・ 地域の人に自己開示できているか。 ・ 外界の情報（チラシ）などに興味を持っているか。
20分	【振り返り】 ・ 参加した地域の方たちと振り返り ・ 次回への改善案			

【活動の写真】

